

ファイブヘルツ抗菌剤



試験報告書 抗菌力試験結果

改訂 2016年 1月 4日

ファイブヘルツ株式会社

【メチシリン耐性黄色球菌(MRSA)抗菌力試験結果】

(財)日本食品分析センター

試験概要： 滅菌生理食塩水で検体の1%懸濁液を調整し、試験液とした。
 試験液にメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(以下「MRSA」という。)の菌液を添加・混合し、25℃・保存24時間後に試験液の生菌数を測定した。

試験結果： 試験液は10倍希釈液1mlから生菌数の測定が可能であることを予備試験により確認した。

試験液に添加した試験菌の生菌数測定結果			
試験菌	区分	生菌数 (/ml)	
		開始時	25℃・24時間後
MRSA	試験液	1. 2x10 ⁵	< 10
	対照	1. 2x10 ⁵	3. 0x10 ³

試験液： 滅菌生理食塩水で調製した検体1%懸濁液
 対照： 滅菌生理食塩水
 開始時： 菌液添加直後の対象の生菌数を測定し、開始時とした。
 < 10 : 検出せず

【大腸菌(O-157:H7)抗菌力試験結果】

(財)日本食品分析センター

試験概要： 検体の1%懸濁液を調整し、試験液とした。
 試験液に大腸菌(血清型O 157:H7)の菌液を添加・混合し、25℃・保存24時間後に試験液の生菌数を測定した。

試験結果： 試験液は10倍希釈液1mlから生菌数の測定が可能であることを予備試験により確認した。

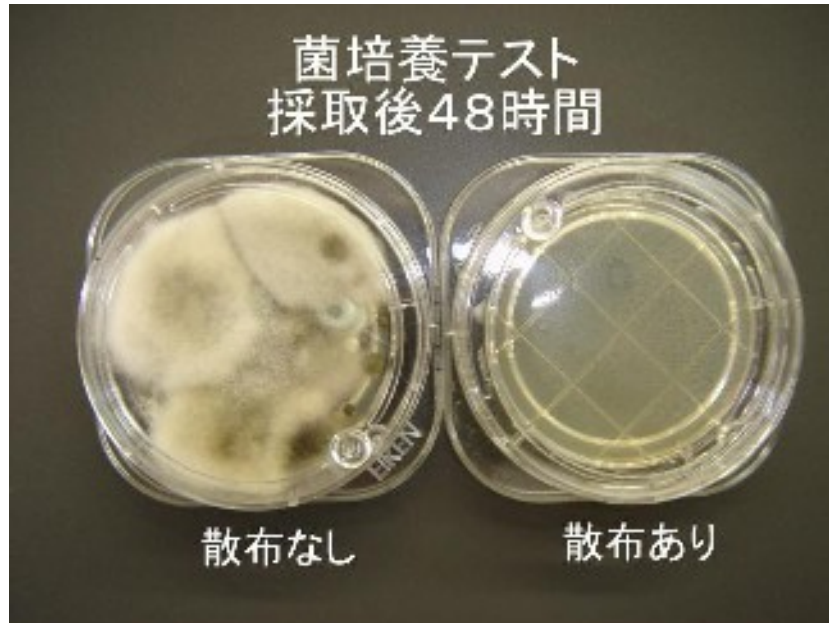
試験液に添加した試験菌の生菌数測定結果			
試験菌	区分	生菌数 (/ml)	
		開始時	25℃・24時間後
大腸菌 (O-157: H7)	試験液	3. 0x10 ⁵	< 10
	対照	3. 0x10 ⁵	3. 4x10 ⁵

試験液： 滅菌生理食塩水で調製した検体1%懸濁液

対照： 滅菌生理食塩水
開始時： 菌液添加直後の対象の生菌数を測定し、開始時とした。
< 10 : 検出せず

【菌培養テスト】

- * 大阪の某ホテルの通常清掃後の床から採取
- * 2つとも同じ箇所から採取
- * 一方にはファイブヘルツを散布、もう一方には何もせず
- * 採取後48時間経過



- * 左のファイブヘルツ散布なしの方は採取後すぐに菌が繁殖し始め、48時間後には上記写真のようになりました。
- * 右のファイブヘルツ散布ありの方は何も変化がなく、菌が繁殖していない・菌が死滅している状態となっています。